



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ひろしま

CHANCE 広島県
カーボン・サーキュラー・エコノミー
推進協議会
Council of Hiroshima for a carbon Circular Economy

資料提供

令和8年2月3日
課名：環境・エネルギー産業課
担当者：畠
内線：3364
直通電話：082-513-3364

県内高校生等が集結！国内最先端の カーボンリサイクル研究施設見学会を開催！

カーボンリサイクル×研究体験 in 大崎上島町

広島県では、2050年までにカーボンリサイクルに係る事業を本県産業の柱の一つとして育成することにより、県経済を発展させ、さらには世界のカーボンニュートラルへ貢献することを目標に、産学官連携や研究活動の集積に向けた取組にいち早く着手しております。

その取組の一つとして、将来世代における早期からの機運醸成や、カーボンリサイクルを中心としたカーボン・サーキュラー・エコノミー※の認知や関心の向上を目的に、広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会（通称：CHANCE）において、県内高校生等に向けた特別授業やイベントを実施してまいりました。

この度、5回目の次世代教育イベントとして、県内高校生等を対象に、大崎上島町にある国内最先端のカーボンリサイクル研究施設を、実験の実演や研究体験、研究者による解説等と交えながら見学するイベントを開催いたします。

ぜひ、各メディアでの取材を賜りますよう、よろしくお願いします。

※ CO₂を資源と捉え、CO₂が生物や化学品、燃料等、様々なかたちに変化しながら、自然界や産業活動の中で、大気中のCO₂を増加させることなく、持続的に循環する社会経済のこと

イベント概要

- 開催日時
令和8年2月11日（水・祝）11:00～15:45
- 開催場所
カーボンリサイクル実証研究拠点
（豊田郡大崎上島町中野 6208-1）
- 対象者
県内高校生、県内高専生、県内大学生
- 参加予定人数
20名
- 当日のスケジュール
11:00～11:45 イン트로ダクション
カーボンリサイクルに関する基礎講義
11:45～13:00 昼食・拠点研究者と参加者同士の交流
13:00～15:35 研究施設見学・研究体験
15:35～16:45 まとめ・振り返り

大崎上島町 広島県内高校生～大学生対象

カーボンリサイクル 実証研究拠点 特別見学会

2026.2.11 水 11:00-15:45

ーカーボンリサイクル×研究体験ー

カーボンリサイクル実証研究拠点とは？

広島県豊田郡大崎上島町にあるカーボンリサイクル技術の
研究拠点を紹介します。

01 地球温暖化対策の鍵
カーボンリサイクル
二酸化炭素を資源として活用する「カーボンリサイクル」が世界で注目されています。

02 日本最先端の技術が集結
炭素回収・利用・貯留（CCUS）技術や、炭素回収・利用・貯留（CCUS）技術の分野の研究者が大崎上島に集結し、実証研究を集中的・継続的に進めています。

参加無料・先着15名限定

見学・体験を通じた学び
研究者・参加者との交流

2/8まで参加者募集！
お申込み・詳細はHP

イベント内容

施設では、最先端CCUS実証として10種の研究テーマが展開されており、研究開発が行われています。
その中から2つの研究テーマを見学・体験します。

特別授業の実施
小さな炭素の世界を体験
世界が注目する「炭素回収・利用・貯留（CCUS）」技術を実験を通して学びます。

講演 1～12 日本炭素回収貯留協会
代表 野村 純平 氏

炭素回収とCO₂から新たな資源をつくる！
SIC合成化学実験を実演
特別な装置を使った
大学レベルの化学実験
を実施
研究者が詳しく解説
炭素回収・利用・貯留（CCUS）技術
実証 施設 職員

共催 広島県 環境・エネルギー産業課 広島県環境・エネルギー産業課
TEL 082-513-3368 mail syokankyogunet@hiroshima.lg.jp

カーボンリサイクル実証研究拠点とは？

CO₂を資源と捉え、素材や燃料などに再利用することで、大気中へのCO₂排出を抑える「カーボンリサイクル」が注目されています。

経済産業省及びNEDOは、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を志す、複数の企業や大学などによる実証研究の拠点として、大崎上島町に「カーボンリサイクル実証研究拠点」を整備しました。

本拠点では、隣接する発電所から発生するCO₂を分離回収して活用し、カーボンリサイクルの要素技術開発や実証研究が行われており、それらをひとつの場所で集中的・横断的に実施することにより、当該分野のイノベーション・実用化を加速させることを目指しています。

また、要素技術開発や実証研究の内容や成果を紹介することで、日本の最先端技術を世界中に向けてアピールしています。

【カーボンリサイクル実証研究拠点ホームページ】

<https://osakikamijima-carbon-recycling.nedo.go.jp/>



見学先について

○ 可能性は無限大！？小さな藻の世界を体験？

<見どころ>

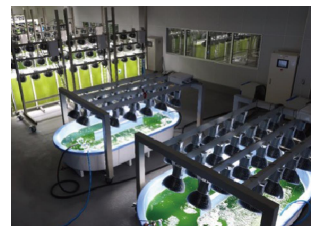
- ・ 気候変動や食糧危機など様々な問題を解決するかもしれない素材として注目を集めている「微細藻類」について研究者が解説
- ・ 最新の微細藻類の培養設備や研究室を見学
- ・ 肉眼では見ることができない微細藻類を、顕微鏡を使って観察

<講師>

一般社団法人 日本微細藻類技術協会 事務局長 のむら じゅんぺい 野村 純平 氏

<研究テーマ名（NEDO 事業）>

- ・ カーボンリサイクルに資する微細藻類の担持体培養技術とバイオマスの製品化の研究開発
- ・ 微細藻類産業の価値向上を目的とした支援・研究



○ 廃棄物とCO₂から新たな資源をつくる！SiC（炭化ケイ素）合成化学実験を実演

<見どころ>

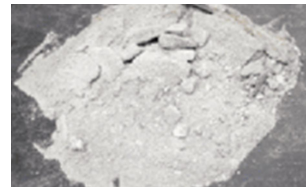
- ・ 次世代の半導体材料としての活用に注目が集まっている「SiC（炭化ケイ素）」に関する最先端のカーボンリサイクル技術の紹介
- ・ SiCを合成する化学実験を実演

<講師>

東北大学大学院工学研究科 助教 ふくしま じゅん 福島 潤 氏

<研究テーマ名（NEDO 事業）>

シリコン系廃棄物の高度資源化技術によるカーボンリサイクル型SiC合成の研究開発



共催・ホームページ

- 広島県
- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
- 一般財団法人 カーボンフロンティア機構（JCOAL）

【イベントの詳細（県ホームページ）】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/77/workshop.html>

当日の取材について

- 当日の取材については、下記のとおりお申し込みいただいた上で、10:30～11:00 の間に、カーボンリサイクル実証研究拠点（豊田郡大崎上島町中野 6208-1）に集合してください。

<参考>

- ・ 当日参加者が往路乗船予定のフェリー出発時間は竹原港 10:10 発です。
 - ・ 島内の移動には、バス、タクシーもしくは自家用車をご利用ください。
- なお、東北大学の施設見学については、一部撮影ができない箇所があります。予めご了承ください。
- 取材を御希望の場合は、次の必要事項を記載し、メールにてお申し込みください。
- ・ 件名は「CR 拠点特別見学会取材申込」としてください。
 - ・ 誠に恐れ入りますが、準備の都合上、2月10日（火）正午までにお申し込みください。

1. お問い合わせ、取材お申し込みメール送信先

syokankyo@pref.hiroshima.lg.jp （広島県商工労働局 環境・エネルギー産業課）

2. 送信内容

- ① 貴社名
- ② 貴誌・紙名・番組名
- ③ 当日の代表者の氏名（フルネーム）・ふりがな
- ④ 御同行者全員分の氏名（フルネーム）・ふりがな
- ⑤ 携帯電話番号（当日の緊急連絡先）
- ⑥ 撮影予定の有無
有の場合、撮影種別（スチール、ムービー）及び台数
- ⑦ 備考（取材に関する御質問・御要望がありましたら、御記入ください。）